

D-16 家庭における家庭の運営管理能力の養成 について（第1報）

家政教育をめぐる母娘の関係

女子栄養大 末広 和子

1. 家庭の運営管理能力の養成は、子女の養教育という家庭生活の重要な役割の一つとして、男女の性別を問わず行なわれなければならない。現実には、この問題について、どのような認識がもたれているであろうか。また、家政学の見地から、家庭管理能力の評価をいかに行ない、その養成にはどのような方法や態度がとられるべきであるか、学校における関連諸学科との関係や、子女の生活諸部面との関連において、総合的な立場で検討されるべきではないかと考える。しかし、これらの問題について、個人が研究を進めることは至難なので、問題を提起する意味で、多角的に考察を試みたいと考えた。

2. 今回は、女子栄養短期大学生とその母親を対象に、主として家政教育をめぐる母娘の関係について、質問紙による実態調査を行なった結果について、報告する。

3. 有効な回収数は、母娘一組として52組である。従って統計的に問題にする実態調査とはいえないが、この対象者である娘たちは、食生活を中心とする職業教育を受けているものである。上記の研究目的の考察をすすめてゆく上に興味ある結果を見出すことができると考える。例えば、家政の相談を母親からもちかけられている娘は、母娘の心理的な結びつきを感じ、娘としての満足感、責任感から学習への意欲を高めている。